

地区連・宮城県事務局便り

新しい年を迎えて毎年楽しみにしているお正月番組の一つに箱根駅伝があります。第98回の今年は青山学院

大学が大会新記録・歴史的勝利で幕を閉じましたが、私

が目を見送るなかで、初出場ながら健闘しタスキを

途切れることなく最後まで繋いだ駿河台大学でした。

なかでも4区を走った今井隆生選手です。今井選手は、

教員の自己啓発休業制度を利用して大学三年生に編入

学し箱根駅伝に出場するという目標を二年目に達成し

ました。日々コツコツ努力する姿勢がチームメイトの意

識を変え士気を鼓舞する源となり、そして駿河台大学

が初出場の切符を勝ち取ったことはチームメイトのみ

ならず他大学の選手にも大きな影響を与えました。「今

井選手の姿勢に努力を続けることの大切さを教えても

らいました」と。4区の今井選手31歳が5区の永井選手

21歳に死力を尽くしてタスキを繋ぐ姿に胸が熱くなり

ました。また、この時に管理車の中から徳本監督が今井

選手にかけた労いの言葉にもジーンとききました。何かし

らドラマがある箱根駅伝だからこそ見逃せませんね。

今年は「五黄土星の寅年」三十六年に二度の非常に大

きなパワーを持った好機の年だそうですね。この強いエ

ネルギーを味方にし、充実した年にしていきましょう!!

本年もどうぞよろしくお願いたします。

事務局長 秋葉久美

今年最初の当地区連運営事業は、年末からのオミク

ロン株の感染が広まり始めた二月十五日の受講後五年経

過した方向けの「(更新)屋外広告物点検技能講習会」

(省略)点検技能講習会)でした。当日は午前の部と午

後の部のどちらかを選択していただき約150名の方

が無事に更新を済ませておりますが、その後、健康状態

についての連絡もなく、ホッとしています。

振り返れば、東北地区が全国に先駆けて五年前に実

施した「(新規)点検技能講習会」は、三密・ソーシャル

ディスタンス...という言葉すらなく(幸せな時代でした

...会場満席の160名という大勢でも安心して受講

していただけました。

この五年の間に時代は大きく変わり「コロナ禍のまま

東北地区での「(更新)点検技能講習会」受講対象者が

160名。特に健康や安全に配慮した上で修了者の資

格を失効しないことを大前提に考える必要があります

た。

昨年七月上旬の東北六県理事長会議時点では、五年

経過時での猶予期間が未定ということとマニュアル等の

情報が得られない状況でしたが、丸五年となる「(新

規)点検技能講習会」修了日の二月二十四日まで後半

という不安から、大戸地区連会長の助言もあり、初回修

了日の翌日を実施日とし会場もコロナ禍三年目を覚悟

して、定員の半数制限150名が入室可能な会場を確

保し、さらに午前と午後の二回の内どちらかを選択す

れば密にならずに160名全員が受講できるという目

処も立ちましたので、各県理事長の同意を得て今回実

施することが出来ました。

二回目の「(更新)点検技能講習会」も午前と午後と

で仙台市内で九月に実施予定です。更新するかどう

かは各自ご判断の上、受講する場合は日広連からの案内

に沿って申込手続きをお願いします。その場合、修了証

カードで修了日の確認と猶予期間内かどうかをお確か

めください。

また、「(新規)点検技能講習会」についても今年度も

実施予定です。開催時期前には案内が日広連より届

きますので受講が必要な方は手続きをお願いします。

なお、「(新規)(更新)点検技能講習会」とも東北地

区以外の地域でも随時実施してまいりますので、日広連事

務局や日広連HPから情報を得て受講をお願いしま

す。何かございましたら遠慮なく東北地区連事務局

にもご連絡ください。

今年こそコロナが収束して安心して皆様とお会い

できますように.....

事務局長 高橋ちよ子

令和3年度 屋外広告物点検技能講習会

盛岡会場



現在、屋外広告物の安全点検実施者の資格として「屋外広告士」等の他に「点検技能講習会修了者」を認めている東北地域の自治体も多く、専門家である屋外広告業者への期待の大きさと共に、今後なお一層の安心安全に取り組む姿勢や点検有資格者としての大きな責任を担っているという自覚も強く求められるものと思われる。

令和2年は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、盛岡会場での実施を中止し仙台会場のみの実施となった「点検技能講習会」であったが、今年度は予定通りに2回実施した。

まず、6月26日に盛岡市の「アイーナ」で51名の受講者と自治体担当課(岩手県、盛岡市、陸前高田市、平泉町)より5名をオブザーバーに迎え実施した。当日の会場運営については、大戸地区連会長(福島県理事長)、藤田地区連副会長(岩手県理事長)、木村地区連副会長(青森県理事長)、木浪青森県組合員の講師4名と佐藤寧岩手県技術開発委員長、小野寺岩手県事務局員、高橋東北地区連事務局長の係員3名が担当した。

2回目は11月27日に仙台市「アエル」で58名の受講者と自治体担当課(山形県、福島県、山形市、仙台市)4名のオブザーバー参加があり、講師の大戸地区連会長、服部地区連理事(山形県副理事長)、星川地区連監査(宮城県)、石岡宮城県組合員の4名の他に総括責任者の佐々木地区連副会長(宮城県理事長)と鈴木地区連専務理事(宮城県)、秋葉東北地区連事務局員、高橋地区連事務局長の4名の係員が当日運営し、今年度の「新規技能点検講習会」は終了した。

次ページへ続く